５／３０（金）の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　　５月２１日（水）１５時００分

発表項目（行事名）	**令和７年度　地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会の開催について**		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	令和７年夏の営農が始まる前に、関係機関・団体を参集し、気象情報や病害虫の発生状況、各機関・団体における猛暑や多雨などの異常気象に向けた対策について情報共有を図るため、次のとおり検討会を開催します。 今回で３回目の開催となります。 地球温暖化に伴う気候変動の影響が顕在化する中、全道の夏（６月～８月）の平均気温は、令和５年(2023年)が昭和２１年(1946年)の統計開始以降で１位、令和６年(2024年)が２位を記録し、札幌管区気象台による「夏の気候の見通し（暖候期予報）」では、本年も「夏の気温は高い」との予報であることから、猛暑に備え、関係機関・団体それぞれが、迅速かつ適切な対応が取れるよう危機意識の醸成などを図るため、開催するものです。 【開催概要】 １　開催日時 令和７年(2025年)５月３０日（金）１３：３０～１５：３０ ２　場　所 北農健保会館３階大会議室 （札幌市中央区北４条西７丁目１－４） ３　参　集 国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区気象台、 農研機構北海道農業研究センター、道総研農業研究本部 北海道農業協同組合中央会　外農業関係団体５者 農林水産省北海道農政事務所【オブザーバー】 北海道農政部【事務局：技術普及課】 ※各振興局・普及センター職員は、ＷＥＢ参加 ４　議　題 別添次第（案）のとおり。		
参考	・資料は、検討会当日に会場で配布します。 ・過去の開催状況は、以下のＵＲＬで参照できます。 第１回(R6.1.17) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/176861.html 第２回(R5.5.30) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/190889.html		

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	農政部生産振興局技術普及課（担当者：主幹　齋藤） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０６－５３８０　内線２７－８０６ 公用スマホ　０１１－５８５－５１０４　内線２１５３０

令和７年度　地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会について

（令和７年（2025年）５月２１日
北海道農政部生産振興局技術普及課）

１　目　的

令和５年(2023年)の全道の夏（６月～８月）の平均気温が、昭和21年(1946年)の統計開始以降で１位、令和６年(2024年)で２位を記録し、札幌管区気象台は２月に公表した「夏の気候の見通し（暖候期予報）」で、本年も「夏の気温は高い」と予報したことから、道内の試験研究機関、普及組織、関係機関・団体の参集を得て、気象見通しや生育状況など営農に関する情報、既存技術の活用・普及や今後取り組むべき技術開発を検討する「地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

２　開催日時

令和７年(2025年)５月30日（金）13:30～

３　場　所

北農健保会館３階大会議室（札幌市中央区北４条西７丁目１－４）

４　参集範囲

国土交通省気象庁札幌管区気象台
国土交通省北海道開発局
国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター
地方独立行政法人　北海道立総合研究機構農業研究本部
公益社団法人　北海道農産基金協会
一般社団法人　北海道農産協会
北海道土地改良事業団体連合会
北海道農業協同組合中央会
ホクレン農業協同組合連合会
北海道農業共済組合
農林水産省北海道農政事務所【オブザーバー】
北海道農政部【事務局：技術普及課】

５　検討事項

検討会では、地球温暖化による本道農業への影響の軽減に向け、以下の事項について、情報を共有するとともに、今後の対応を検討する。

（１）気象経過と今後の見通しについて
（２）農作物の生育状況や病害虫の発生状況について
（３）地球温暖化による各作物への影響分析とその技術的対応について
（４）地球温暖化に適応するための試験研究等について
（５）その他

令和７年度　地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会

次　　第（案）

日時：令和７年５月30日（金）13:30～
会場：北農健保会館３階大会議室

１　開　会

２　挨　拶

３　議題等
（１）気象経過と気象見通しについて

（２）農産物の生育状況と営農技術対策等について
①　農産物の生育と営農技術対策について

②　病害虫の発生状況と予測について

③　関係課の取組について

（３）農業農村整備における対応について
①　ダムの貯水状況について

②　高温等に適応する農業農村整備事業の進め方について

（４）各機関・団体における営農技術対策等について

（５）試験研究の現状と対応方向について
①　気象変動研究の現状と対応方向について

②　気候変動に適応した道内農業の構築について
　　―道総研における戦略研究の展望―

４　質疑応答

５　その他

６　閉　会